

[03_01]九州大学大型計算機センター広報 : 3(1)

<https://doi.org/10.15017/1467966>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (1), pp.1-55, 1970-02-24. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

センター建物工事再開について

昭和43年6月2日の米軍機墜落事故により中断されていた、九州大学大型計算機センターの工事が昭和44年12月25日より再開されました。45年3月末完成を目指して、急ピッチで作業は進行中です。しかし、工期の短縮、資材の値上がり等により、外装を防水モルタルにとどめる等の変更があり、学内計算センターである中央計数施設の入る6階も内装等が次年度に廻されることになりました。現在工事が進行中の建物を見るにつけ、ここまで漕ぎつけるための学内外の皆様のご尽力に対し深く感謝すると同時に、当センターを本当に研究者の役に立つセンターに仕上げるのが、我々センターに働く者の責務だと痛感しています。

昭和45年度予算に関しては、同程度の他センターと同額認められましたが、定員に関しては1名も増員が認められなかったため、他センターの半数という状態です。センター運営に関し、前途はまだ多難と思われませんが、利用者の皆様のご理解とご協力により、何とか皆様のご期待に添うセンターにしたいと思っている次第です。

工事の進捗が流動的であるため、移転に関するスケジュールはまだ正確に決まっておりませんが、4月頃になると思われます。移転に際しては、利用者の方々にどうしてもご迷惑をおかけすることになりますが、本センターに移りました後は、これまでのような不便も解消され、より良いセンターができ上げるはずでありますのでご了承くださいようお願いします。